



管理ツール 操作マニュアル

S01-13 ファイル出力設定:HTML

株式会社 NTTデータ NJK

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記.....	S01-13_0
1.DataNature Smart 全体概要図.....	S01-13_1
2.基本操作.....	S01-13_2
2-1 ジョブの作成.....	S01-13_2

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

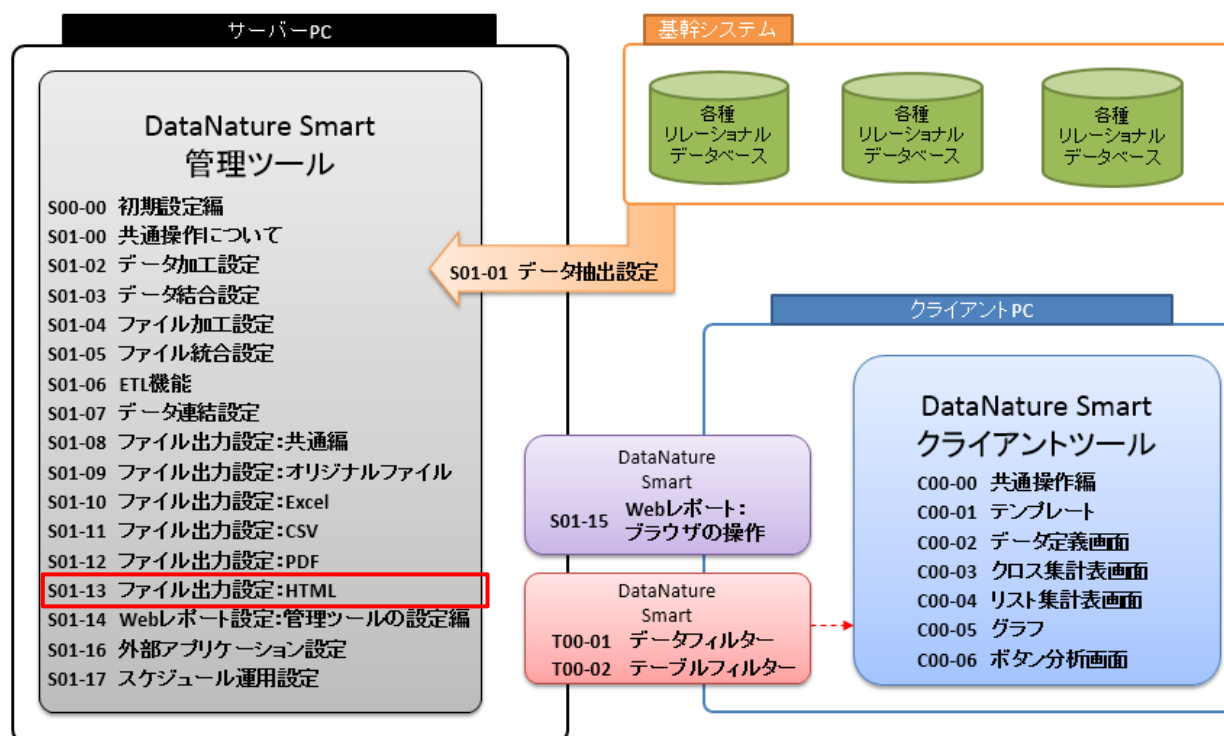
マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

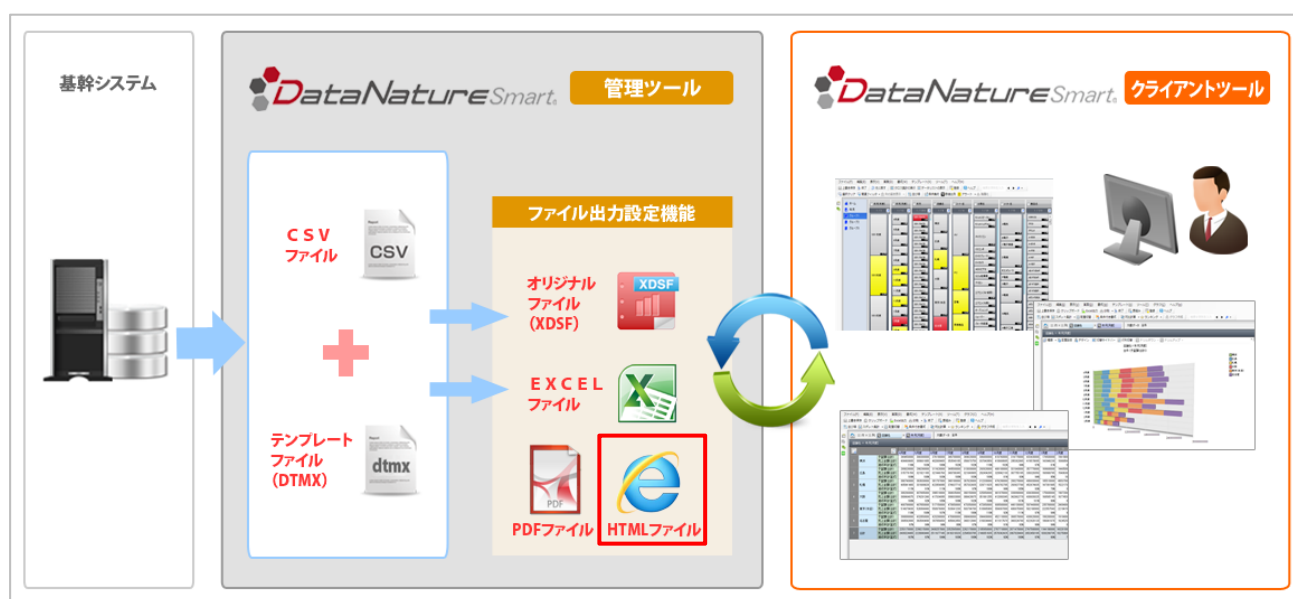
導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. DataNature Smart 全体概要

本マニュアルでは、S01-13 ファイル出力設定:HTML について記載しています。



クライアントで登録したテンプレートファイルを基に、最新のデータで HTML ファイルを自動生成します。



2. 基本操作

2-1 ジョブの作成

DNクライアントで登録したテンプレート(クロス集計表、リスト集計表、グラフ)を最新の分析用データファイルに適用し、その結果を Web ブラウザで閲覧可能な HTML ファイル形式(*.html)で任意のフォルダーへ自動出力します。



HTML ファイル出力設定を利用するには、事前にDNクライアントでテンプレートを登録したテンプレートファイル(*.dtmx)を保存しておく必要があります。



DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]ノードをクリックし、メニューバー[ジョブ設定]-[データ出力系作成]-[HTML ファイル出力設定]をクリックします。
([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[HTML ファイル出力設定]ノード上のコンテキストメニュー[新しいジョブ])

▼[HTML ファイル出力設定のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

- ② [ジョブ名:]テキストボックスに、ジョブ名を入力します。
- ③ [コメント:]テキストボックスに、HTML ファイルについての説明などを任意に入力します。
- ④ 続いて、処理対象となるファイルを指定します。

基ファイル	分析対象のデータファイル(*.csv)を指定します。
テンプレートファイル	基ファイルに適用するテンプレートを格納しているファイル(*.dtmx)を指定します。
CSS フォルダ	カスケード・スタイル・シートファイル(*.css)の格納先フォルダーを指定します。



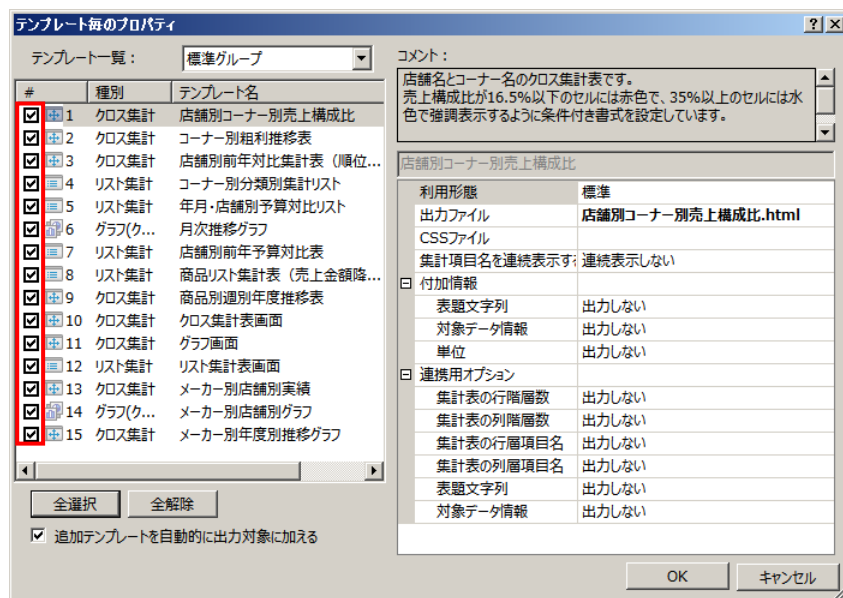
カスケード・スタイル・シートを適用すると HTML ファイルに背景色や文字色の指定、集計表の罫線のスタイルの変更などが行えます。CSS ファイルは事前に用意しておいてください。なお、CSS ファイルを適用しない場合には、格納先フォルダーを指定する必要はありません。

- ⑤ [実行モード]で、処理を実行するモードを通常/オンメモリモードから指定します。(オンメモリモードは、64bit モードでインストールしている場合のみ指定可能です。)



オンメモリモードは、メインメモリにデータファイルの内容を保持したまま処理を行なうモードで、処理を高速化します。
但し、一時フォルダーが SSD 上にある場合、効果はあまり期待できません。また、物理メモリが潤沢でない場合、メモリ不足が発生したり動作が遅くなる可能性があります。環境やデータによって効果は変動しますので、予めご注意ください。

- ⑥ [テンプレート毎の設定]ボタンをクリックします。
▼[テンプレート毎のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



- ⑦ 左側の[テンプレート一覧:]から、出力するテンプレートのチェックボックスをチェックオンします。
[テンプレート一覧:]右横のドロップダウンリストから、テンプレートグループの指定が可能です。
- ⑧ テンプレートを選択すると、右側に出力用の設定画面が表示されます。以下を参考に必要に応じて設定してください。

<クロス集計表>

利用形態	標準
出力ファイル	店舗別コーナー別売上構成比.html
CSSファイル	
集計項目名を連続表示する	連続表示しない
付加情報	
表題文字列	出力しない
対象データ情報	出力しない
単位	出力しない
連携用オプション	
集計表の行階層数	出力しない
集計表の列階層数	出力しない
集計表の行層項目名	出力しない
集計表の列層項目名	出力しない
表題文字列	出力しない
対象データ情報	出力しない

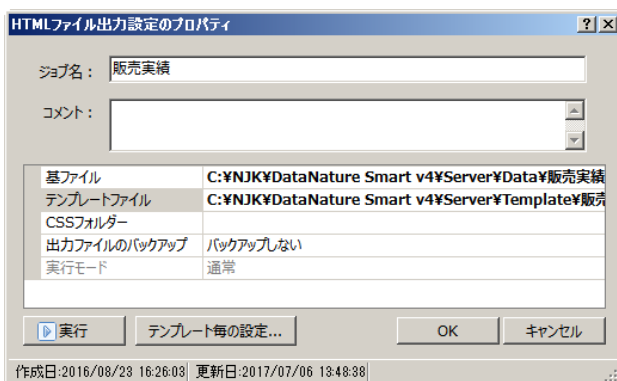
<リスト集計表>

利用形態	標準
出力ファイル	コーナー別分類別集計リスト.html
CSSファイル	
列項目の重複データを省略する	省略しない
付加情報	
表題文字列	出力しない
対象データ情報	出力しない
単位	出力しない
連携用オプション	
表示モードの種別	出力しない
集計キーの項目数	出力しない
集計キー項目の位置	出力しない
表題文字列	出力しない
対象データ情報	出力しない

利用形態	Web レポートオプション導入時に表示されます。HTML ファイルそのものを出力する場合は「標準」を、Web レポートからリンクさせる場合は「Web レポート」を選択してください。
出力ファイル	出力する html ファイルの名称を入力します。
CSS ファイル	適用するカスケード・スタイル・シート(CSS)ファイルを指定します。
集計項目名を連続表示する (クロス集計表)	集計表で省略されている行/列の項目名称を「連続表示しない」、「連続表示する」から選択します。
列項目の重複データを省略する (リスト集計表)	集計表で繰り返し表示される項目名を「省略しない」、「省略する」から選択します。
付加情報	付加情報や他のアプリケーションとの連携に必要な情報を、出力ファイルの内容として「出力しない」、「出力する」から選択します
連携用オプション	

- ⑨ 出力する全てのテンプレートの設定が完了すれば[OK]ボタンをクリックします。

▼[HTML ファイル出力設定のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。



[実行]ボタンをクリックすると、[読み込み件数の設定]ダイアログボックスが表示され、件数を限定してテスト実行することができます。

10 設定が完了しましたので、[OK]ボタンをクリックし、ジョブを登録します。

▼[HTML ファイル出力設定プロパティ]ダイアログボックスが閉じ、管理ツールの画面に戻ります。設定した内容がプロパティ表示領域に表示されます。

